Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

1. 適用範囲

本書は、DF36A-*S-0.4V および DF36-*P-0.4SD(ASSY)の挿入・抜去を行う際の手順について規定するものです。(*：極数)

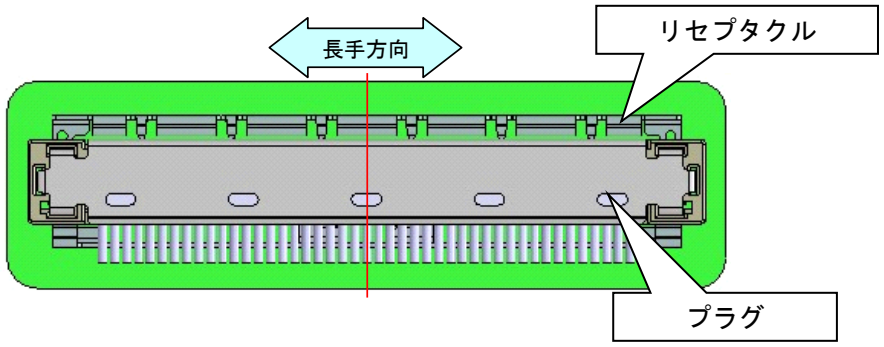
2. コネクタ品名

品　　名	名　　称	構成内容
DF36A-*S-0.4V	リセプタクル (シールド強化タイプ)	DF36A-*S-0.4V (単体コネクタ)
DF36A-*P-0.4SD(ASSY)	プラグ (シールド強化タイプ)	DF36-*P-0.4SD + DF36A-*P-SHL (プラグ本体)　　(シェル)

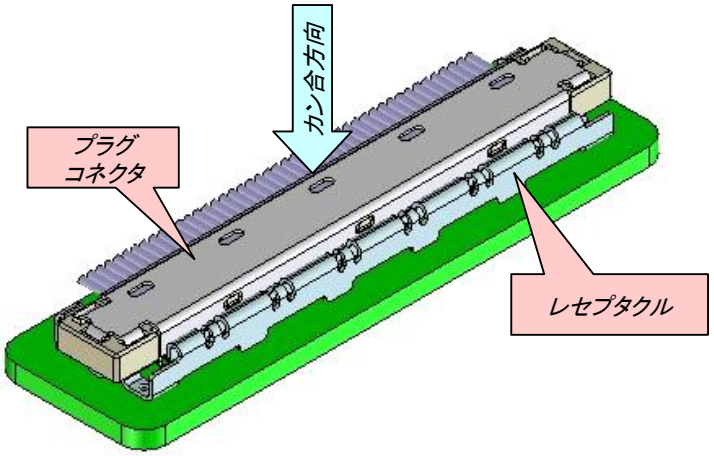
3. 作業手順

3-1. 挿入

3-1-1：シェルやケースの端面、穴等を目安にして、コネクタ同士の長手方向の中心がほぼ合うように位置合わせを行って下さい。



3-1-2：プラグコネクタをカン合方向に軽く押しながら前後左右のガタを確認し、レセプタクルの中央に位置されている事を確認して下さい。
(中央に位置していると前後左右のガタがなくなります。)



	COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE
△	1	DIS-D-00009849	RO. YOKOYAMA	MT. KANEKO	20211116

名　称　TITLE
△1
DF36 シリーズ挿抜手順書

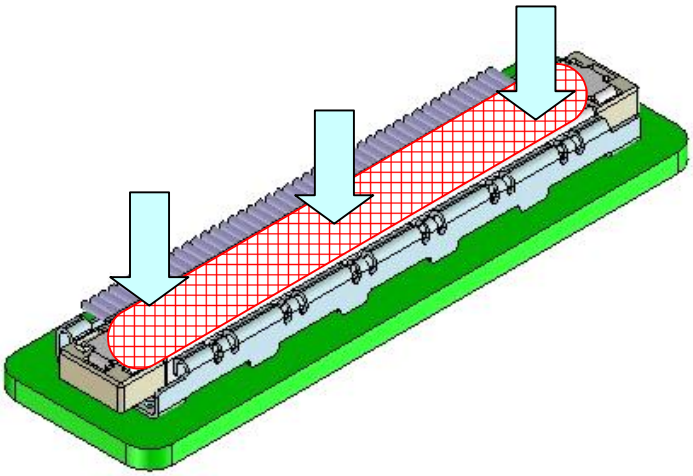
HIROSE ELECTRIC CO., LTD.

APPROVED	TS. SAKATA	20111101
CHECKED	HS. OZAWA	20111101
DESIGNED	TP. MATSUMOTO	20111101
WRITTEN	TP. MATSUMOTO	20111101

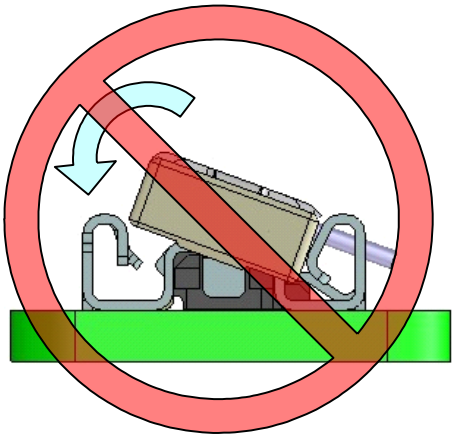
技 術 指 定 書　TECHICAL SPECIFICATION　ATAD-H0583-00　△　1 / 4

FORM HC0011-9-1

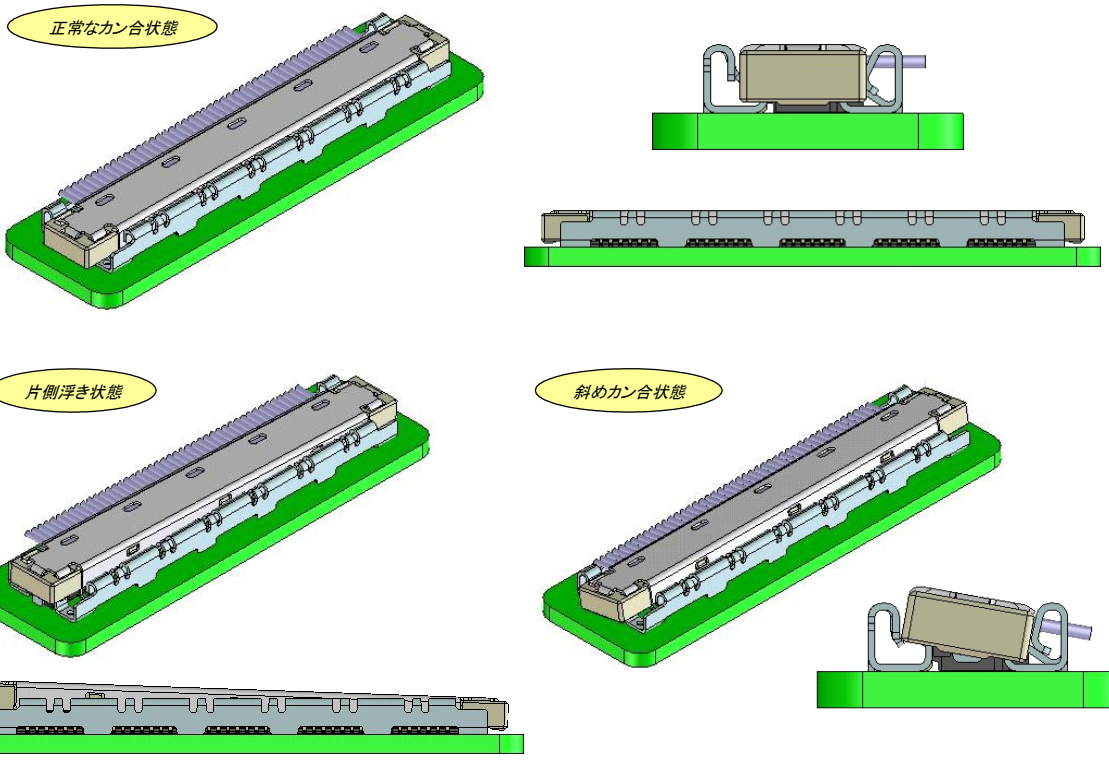
3-1-3：そのまま一様な力でプラグ表面全体を真っ直ぐに押して挿入が完了します。



3-1-4：下図のように、斜めにセットした状態で回転方向にカン合させますと、レセプタクル端子に過度な負荷がかかる恐れがありますのでご注意ください



3-1-5：プラグコネクタが確実にカン合されていることを確認ください。片側が浮いていたり、斜めにカン合されている場合は、一度カン合を外し再度カン合し直して下さい。



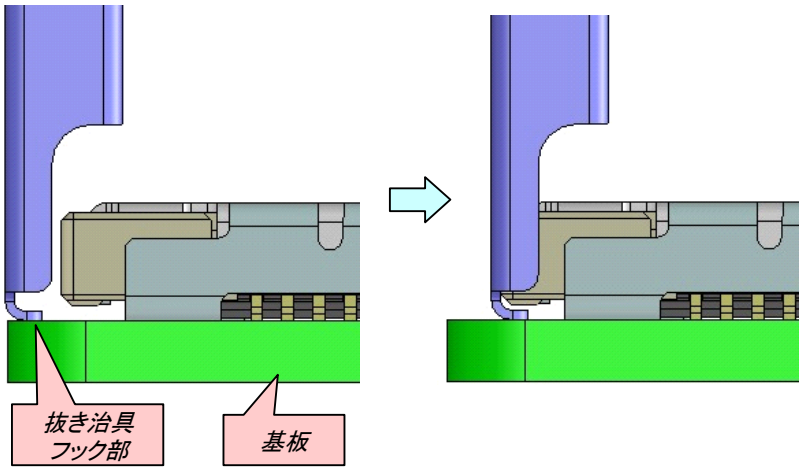
Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

3-2. 抜去

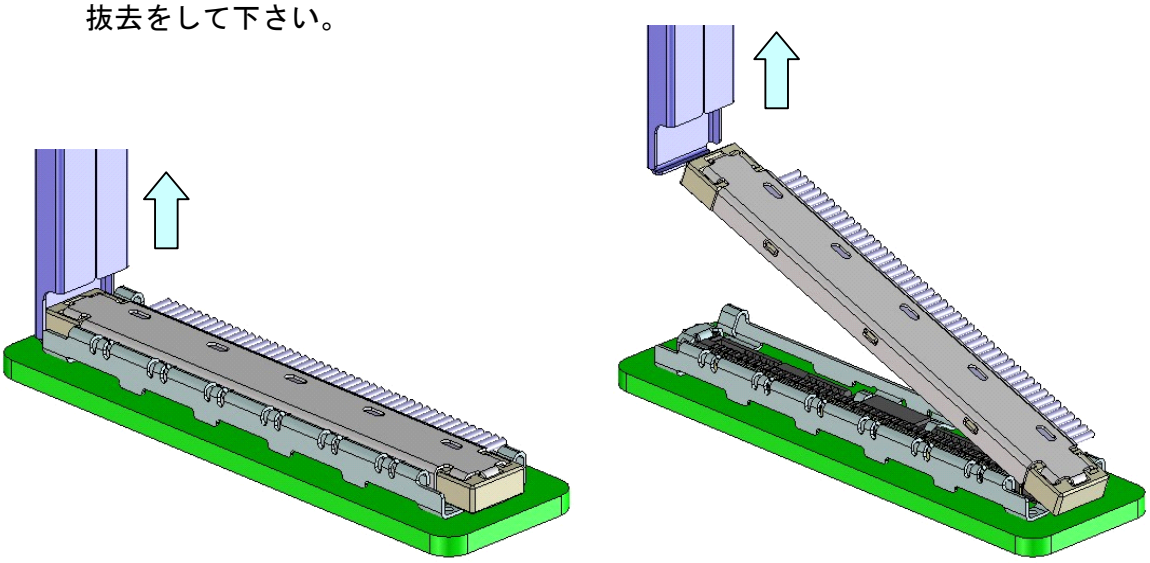
3-2-1：ケーブルを持って抜去作業を行うと断線の危険性があります。
下記に規定する抜き工具の使用を推奨します。

品　　名	名　　称
DF-SD1/RE-MD	抜き治具

3-2-2：抜き治具先端フック部をプラグ横側スペースに下ろし、フックをプラグと基板の隙間に挿入してプラグ側面に突き当てて下さい。

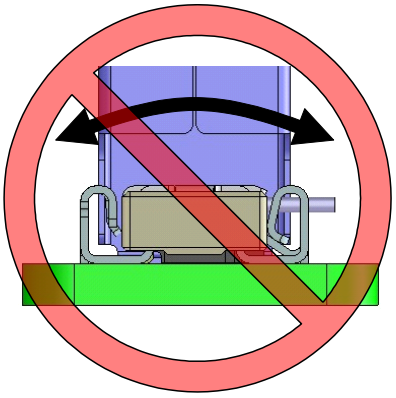


3-2-3：フックがプラグから外れないようにしながら、抜き治具を真上方向に引上げて抜去をして下さい。



【抜去時の注意事項】

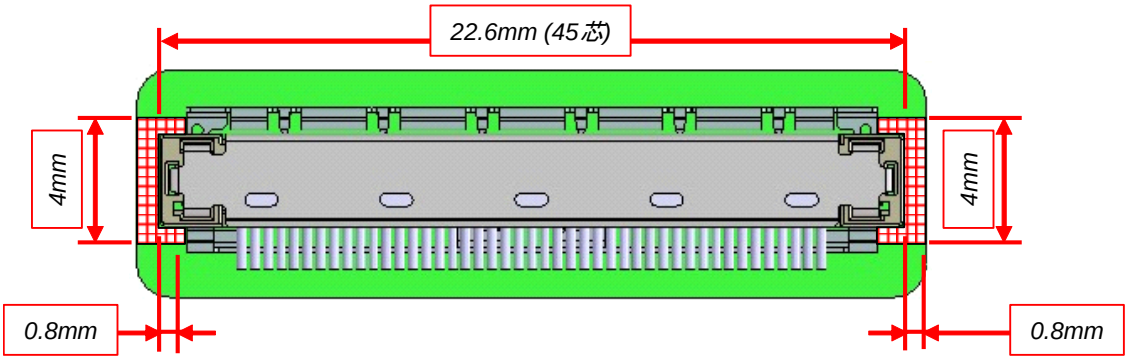
下図のように斜め方向に治具を傾けて抜去を行うと、変形等が発生する可能性がありますのでご注意下さい。



Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.

【その他の注意事項】

1. 引き抜き操作には以下のスペースが必要となります。



2. 抜き治具は金属製で先端フック部が鋭利になっています。
   取り扱い時の怪我にご注意下さい。

3. 活線挿抜に対応しておりません。挿抜作業は切電状態で行って下さい。

4. 挿抜保証回数は 30 回となっております。

Aug.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.